

発行日：2014-03-10

SDS番号：NCW 0001 R- 02 WD JP

改訂日：2022-05-06

版番号：03

1. 化学品及び会社情報

製品名	COOLANT, AURORA BRINE P
製品コード	QM4-1304-000 / QM4-3066-000
供給者の会社名称	キャノンマーケティングジャパン株式会社
住所	〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6
担当部門	製品安全推進担当
電話番号	03-6719-9729
製造者	キャノン株式会社 〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2
推奨用途及び使用上の制限	温調装置用循環溶媒

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類されない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報 なし

注意書き なし

GHS分類に関係しない又は
GHSで扱われない他の危険有害性 なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物

成分

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (重量%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
プロピレングリコール	15 - 20	(2)-234	57-55-6
防食剤	0.1 - 1.5	CBI	CBI
水	75 - 85	なし	7732-18-5

化学名及び濃度を含む上記情報の一部についてはCBI（営業秘密）として記載が省略されている。

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の手当てを受ける。呼吸が止まっている場合は、衣服を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。呼吸していて嘔吐等がある場合は頭を横向きにする。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。意識のない被災者には何も飲み物を与えてはならない。

皮膚に付着した場合 汚染された衣服、靴等は速やかに脱ぎ捨てる。必要であれば衣服等を切断する。製品に触れた部分を、水または微温湯を流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。

眼に入った場合 清浄な水で最低15分間以上洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水が良く行渡るように洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄を続ける。

飲み込んだ場合 直ちに医療措置を受ける手配をする。水で口の中を洗わせてもよい。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

吸入 通常の使用条件下での悪影響は予測されない。

皮膚 わずかな刺激性があるかもしれない。

眼 わずかな刺激性があるかもしれない。

経口 通常の使用条件下での悪影響は予測されない。

**応急措置をする者の保護及び
医師に対する特別な注意事項** なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 二酸化炭素、水、泡消火剤、粉末消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤	なし
特有の危険有害性	なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	必要に応じ、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張る等して関係者以外の立入りを禁止する。作業の際には、適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
環境に対する注意事項	河川や下水に流さない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の場合は、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機等で空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	吸入を防ぎ、眼、粘膜、皮膚との接触を避ける。必要に応じ適切な保護具を着用し、風上から作業する。取扱い後、手洗い、洗眼等を十分に行い、衣服に付着した場合着替える。漏れ、溢れ、飛散を防ぎ、蒸発を発生させない。取扱い場所では、火気、火花、アークを発生するもの、または高温点火減付近で使用しない。容器はみだりに転倒させ、衝撃を与え、または引きずる等の乱暴な取扱いをしない。 機器類は防爆構造とし、設備は静電対策を実施する。
保管	通期のよい場所で容器を密閉し、直接日光が当たらないように冷暗所に保管する。強酸化性物質と同一場所には保管しない。火源の近くに保管しない。 容器は、破損、腐食、割れ等の変質しない材質に入れ保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

製品

製品名	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
温調装置用循環溶媒	設定なし	設定なし	設定なし

成分

なし

設備対策 通常の取扱いにおいては、特別な換気設備は不要。

保護具

呼吸用保護具	呼吸器保護マスクを使用する。
手の保護具	耐薬品性の手袋を使用する。
眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具	耐薬品性の防護服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	レッド
臭い	ほぼ無臭
融点・凝固点 (°C)	融点；-30
沸点又は初留点及び沸点範囲 (°C)	沸点；107
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃範囲	データなし
引火点 (°C)	引火点なし
自然発火点 (°C)	データなし
分解温度 (°C)	データなし
pH	8.8 (25°C)
動粘性率 (mm ² /s)	12.7 (20°C)
溶解度	
水溶性	可溶
脂溶性	不溶
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	データなし
蒸気圧	1970Pa (20°C, 推算値)
密度及び／又は相対密度	1.047g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	なし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	なし

避けるべき条件	なし
混触危険物質	酸、塩基、酸化剤、還元剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素

1 1. 有害性情報

急性毒性	経口；データなし プロピレングリコール：LD ₅₀ > 20000 mg/kg (rat), LD ₅₀ > 24000 mg/kg (mouse)
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし
その他の情報	なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	データなし プロピレングリコール：96-LC ₅₀ > 1000 mg/L (goldfish)
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

他の有害影響 データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄は地域、国や地方自治体の適切な法律や条例に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
特別な注意事項	IATA: 該当しない
MARPOL 73/78付属書Ⅱ及び IBCコードによるばら積み輸送される 液体物質	該当しない
国内規制がある場合の規制情報	なし

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物／通知対象物	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（化管法） 第一種／第二種指定化学物質	該当しない
毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物	該当しない
消防法 危険物及び指定可燃物	該当しない

16. その他の情報

参照規格

本安全データシート（SDS）は、JIS Z 7253：2019（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS））に準じたものである。

また、GHS分類はJIS Z 7252：2019（GHSに基づく化学品の分類方法）に従っている。

ただし、区分3、区分4相当の引火点を有するが、燃焼持続性のないインクの場合は、「区分に該当しない」と判定した。

本SDS項9、11および12の記載データは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果または成分のデータに基づく推定です。

引用文献

- 労働安全衛生法 管理濃度
- 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- 米国 産業衛生専門家会議 (ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- 世界保健機構 (WHO) 国際がん研究機関 (IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

略語

- 化審法: 化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- 安衛法: 労働安全衛生法
- 化学物質排出把握管理促進法（化管法）: 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals（化学品の分類及び表示に関する世界調和システム）
- ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values（米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値）
- TWA: Time Weighted Average（時間加重平均）
- STEL: Short Term Exposure Limit（短時間暴露限界値）
- IARC: International Agency for Research on Cancer（国際がん研究機関）
- IATA: International Air Transport Association（国際航空運送協会）
- JIS: Japanese Industrial Standards（日本産業規格）
- CBI: Confidential Business Information（営業秘密）

本SDSは、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、SDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本SDSは、その記載内容を保証するものではありません。